

平成27年度事務事業評価シート

平成27年7月3日作成

事業番号	218	担当部課	まちづくり部観光課								
事務事業名	武者行列行事開催事業										
予算科目コード	会計	01	款	06	項	01	目	02	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(平成27年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
ゆがわら2011プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	I 基幹産業の振興	1 観光	(1) 観光資源の拡充・整備	①②⑤ ①イベントの充実 ②民間活力の活用 ⑤観光資源の発掘と情報の収集・提供
関連する個別計画					
目的	・史実に基づいた春の観光行事として定着している武者行列を土肥会に委託し、武者行列パレードを挙げるため。				
対象	観光客、地元住民				
内容	・源頼朝旗挙げ武者行列を挙げるし、湯河原町を開運の地としてPR ・大人侍の鎧製作(3領) ・子ども侍の衣装制作(2体)				

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成25年度(決算)	平成26年度(決算)	平成27年度(見込)		
コスト	事業費	2,400,000	2,400,000	2,400,000		
	人件費	常勤職員	1,642,458	1,337,475	1,393,760	
		非常勤職員等				
		人件費合計	1,642,458	1,337,475	1,393,760	
	総事業費	4,042,458	3,737,475	3,793,760		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	4,042,458	3,737,475	3,793,760		
財源合計	4,042,458	3,737,475	3,793,760			
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成25年度	平成26年度	目標値	
観光客数		人	1,200	1,100	1,200	
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成25年度	平成26年度	目標値	
観光入込数(日帰り・宿泊計)	対前年比3%の増	千人	3,943	3,634	3,743	

3 平成26年度までの事業分析及び改善点

評 価 3段階とその理由を記入(A:高い B:普通 C:低い)		
必 要 性	町が実施する必要があるのか	A 必要性がある。 春のイベントとして開催し、地元の豪族である「土肥実平」を後世に語り継ぐことができる。
効 率 性	投入した費用に見合った効果が得られているか	A 費用対効果が得られている。 武者行列を通じて、この時代に活躍した地元の豪族である「土肥実平」をアピールすることができる。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	A 成果が得られている。 地元の豪族である土肥実平らが活躍し、源頼朝が鎌倉幕府を樹立に至る功労者であることを観光客へ周知できる。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	A 受益の機会が均等である。 甲冑や兜を武者行列のパレードで見学することができる。

平成26年度までの改善点	武者行列が挙行できるように、鎧兜などの整備・準備品の確認
--------------	------------------------------

4 見直し及び改善

平成27年度の見直し及び改善 (実績または予定)	4月5日、武者行列行事を開催した。昨年のパレード終了間際、大雨により、参加者がずぶ濡れになった。当日の小雨対応により、前日から雨除け「ポンチョ」を購入して、子ども・大人・関係者の雨対策を実施し、パレードコースの進行を完遂した。
平成28年度以降の方向性	本町の観光客数が低迷している状況を踏まえ、年度最初のイベントを盛大に開催し、本町の観光振興推進のため、継続して実施する必要がある。

5 一次評価(平成28年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	天候に左右されるイベント事業であるが、湯河原の史実を継承していく上で、事業の継続実施し、観光客数の増につなげたい。
------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・特になし
-------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

平成27年度事務事業評価シート

平成27年7月3日作成

事業番号	676	担当部課	まちづくり部観光課								
事務事業名	もみじの郷行事開催事業										
予算科目コード	会計	01	款	06	項	01	目	02	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(平成27年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
ゆがわら2011プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	I 基幹産業の振興	1 観光	(1) 観光資源の拡充・整備	①②⑤ ①イベントの充実 ②民間活力の活用 ⑤観光資源の発掘と情報の収集・提供
関連する個別計画					
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・奥湯河原池峯地区において、ゆがわらの新たな彩りを加えた「もみじの郷」を秋の誘客の基盤とするため、行事を開催するため。</li> <li>・行事開催に伴う宣伝及びPR事業</li> <li>・行事開催に伴うイベントの実施(お茶室の開設)</li> <li>・もみじの郷チラシ作製</li> </ul>				
対象	観光客、ハイカー、お茶愛好家、もみじの郷チラシ受領者				
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・奥湯河原を中心とした紅葉の美しさを広く周知</li> <li>・近郊周遊型の誘致を図る</li> </ul>				

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成25年度(決算)	平成26年度(決算)	平成27年度(見込)		
コスト	事業費	1,250,000	1,250,000	1,250,000		
	人件費					
	常勤職員	821,229	668,738	696,880		
	非常勤職員等					
	人件費合計	821,229	668,738	696,880		
	総事業費	2,071,229	1,918,738	1,946,880		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	2,071,229	1,918,738	1,946,880		
	財源合計	2,071,229	1,918,738	1,946,880		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成25年度	平成26年度	目標値
お茶室利用者			人	1,638	1,596	1,700
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成25年度	平成26年度	目標値
観光入込数(日帰り・宿泊計)		対前年比3%の増	千人	3,943	3,634	3,743

3 平成26年度までの事業分析及び改善点

評 価 3段階とその理由を記入(A:高い B:普通 C:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	A	必要性がある。 秋の観光客を誘客するため
効 率 性	投入した費用に見合った効果が得られているか	A	費用対効果が得られている。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	A	成果が得られている。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	A	受益の機会が均等である。

平成26年度までの改善点	・もみじのハイキングコースの周知
--------------	------------------

4 見直し及び改善

平成27年度の見直し及び改善 (実績または予定)	・もみじの現状(落葉の進捗状況)を把握し、早く利用者(ハイカーや茶室利用客)へ周知 ・雨天時のお茶室の案内
平成28年度以降の方向性	本町の観光客数が低迷している状況を踏まえ、秋の誘客推進を図るため、町が継続して実施する必要がある。

5 一次評価(平成28年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	継続して事業を実施することにより、観光客数の増につなげたい。
------	----------	--------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・特になし
-------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

平成27年度事務事業評価シート

平成27年7月3日作成

事業番号	928	担当部課	まちづくり部観光課								
事務事業名	宿泊促進事業										
予算科目コード	会計	01	款	06	項	01	目	02	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(平成27年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
ゆがわら2011プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	I 基幹産業の振興	1 観光	(4) 観光情報発信の活性化、観光宣伝の強化	①② ①観光イベント・施設情報の提供 ②インターネットを使った観光情報提供の充実
関連する個別計画					
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・湯河原温泉旅館協同組合が宿泊促進事業事業として、アンケートによる抽選で宿泊ギフト券を発行し、宿泊リピーターとして誘客を図るため。</li> <li>・プレミアム付き宿泊ギフト券を発行することにより、お気軽に宿泊いただけるよう広くアピールするため。</li> </ul>				
対象	観光客、インターネット利用者				
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートによる抽選宿泊ギフト券発行</li> <li>・プレミアム付き宿泊ギフト券発行(宿泊券10%分)</li> <li>・宿泊誘客事業</li> <li>・旅行情報誌等への掲載及びインターネットを活用したPR事業</li> <li>・オータム花火等開催事業</li> <li>・誘客キャラバン実施事業</li> </ul>				

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成25年度(決算)		平成26年度(決算)		平成27年度(見込)	
	事業費	17,129,261	20,433,980	16,402,000		
コスト	人件費	常勤職員	821,229	668,738	696,880	
		非常勤職員等				
	人件費合計	821,229	668,738	696,880		
総事業費	17,950,490	21,102,718	17,098,880			
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	17,950,490	21,102,718	17,098,880		
財源合計	17,950,490	21,102,718	17,098,880			
活動指標	指標設定の理由・考え方		単位	平成25年度	平成26年度	目標値
成果指標	指標設定の理由・考え方		単位	平成25年度	平成26年度	目標値
観光入込数(日帰り・宿泊計)	対前年比3%の増		千人	3,943	3,634	3,743

3 平成26年度までの事業分析及び改善点

評価 3段階とその理由を記入(A:高い B:普通 C:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	A	必要性がある。 観光客のニーズを把握することができる。
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか	A	費用対効果が得られている。 観光客のニーズを把握することができる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	A	成果が得られている。 観光客のニーズを把握することができる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	A	受益の機会が均等である。

平成26年度までの改善点	特になし
--------------	------

4 見直し及び改善

平成27年度の見直し及び改善 (実績または予定)	宿泊者を増幅するため、宣伝事業(インターネット配信)や誘客キャラバン実施
平成28年度以降の方向性	本町の観光客数が低迷している状況を踏まえ、誘客事業に伴う本町の観光振興推進のため、町が継続して実施する必要がある。

5 一次評価(平成28年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	単年度では、効果測定が難しく、継続して事業を実施することにより、観光客数の増につなげたい。
------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・アンケート結果の分析を行い、さらなる誘客に結びつけることが重要となる
-------------------------------------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

平成27年度事務事業評価シート

平成27年6月23日作成

事業番号	0209	担当部課	まちづくり部観光課								
事務事業名	パンフレット等印刷事業										
予算科目コード	会計	01	款	06	項	01	目	02	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(平成27年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
ゆがわら2011プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	I 基幹産業の振興	1 観光	(4) 観光情報発信の活性化、観光宣伝の強化	① 観光イベント・施設情報の提供
関連する個別計画					
目的	観光誘客キャラバンにおける宣伝業務や観光案内業務の際に利用する観光パンフレットを作製し、誘客及び町のガイドとして役立てるため。				
対象	湯河原町を訪れる観光客				
内容	湯河原町を訪れる観光客にパンフレットを配布することにより、町内を散策する際に事前に史跡・名所を理解していただき、時間を有効に活用 誘客キャラバン等のPR活動				

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成25年度(決算)		平成26年度(決算)		平成27年度(見込)	
	事業費	1,343,580	1,049,544	1,093,000		
コスト 人件費	常勤職員	821,229	668,738	696,880		
	非常勤職員等					
	人件費合計	821,229	668,738	696,880		
総事業費	2,164,809	1,718,282	1,789,880			
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	2,164,809	1,718,282	1,789,880		
財源合計	2,164,809	1,718,282	1,789,880			
活動指標	指標設定の理由・考え方		単位	平成25年度	平成26年度	目標値
散策マップ印刷			部		120,000	
ハイキングコース印刷			部		10,000	
成果指標	指標設定の理由・考え方		単位	平成25年度	平成26年度	目標値
観光入込数(日帰り・宿泊計)	対前年比3%の増		千人	3,943	3,634	3,743

3 平成26年度までの事業分析及び改善点

評価 3段階とその理由を記入(A:高い B:普通 C:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	A	観光客への周知・イベント会場での配布などで、「湯河原町」をアピールするチラシ・パンフレットは町が作製する必要がある。
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか	A	パンフレット配布により、受領者が湯河原を訪れる行程あるいは散策できる施設の照会に対応ができるため、費用に見合った効果が得られる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	B	携帯端末が普及し、インターネット利用者が急増していますが、イベント開催内容・ハイキングコース案内などの配布には成果が得られる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	B	湯河原を訪れる計画を立てる目的として、受益の機会が均等である。

平成26年度までの改善点	毎年、リニューアルする際、観光目的地の加除
--------------	-----------------------

4 見直し及び改善

平成27年度の見直し及び改善 (実績または予定)	リニューアル予定(逐次、内容を最新版に変更) 散策史跡・施設
平成28年度以降の方向性	現行の規格(A3:2折り)の大きさと、印刷内容を順次、更新作製

5 一次評価(平成28年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	観光宣伝の媒体が、SNSに移行しつつあるが、引続きパンフレット・チラシの紙媒体を製作する必要があるため、現状維持にしたい。
------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・特になし
-------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------



平成27年度事務事業評価シート

平成27年6月23日作成

事業番号	0210	担当部課	まちづくり部観光課							
事務事業名	駅前LED広告掲出事業									
予算科目コード	会計	01	款	06	項	01	目	02	事業開始年度	平成 6 年度

1 事業概要(平成27年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
ゆがわら2011プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	I 基幹産業の振興	1 観光	(4) 観光情報発信の活性化、観光宣伝の強化	① 観光イベント・施設情報の提供
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画				
目的	(株)湯河原総合情報センターが所有する駅前大型LED表示装置を媒体として湯河原町の広告掲出をする。 町広報紙同様に町民への周知板及び観光客へのPR板として広く活用。				
対象	湯河原町に訪れた観光客、町民				
内容	湯河原の玄関口である駅前に設置してあるLED表示装置により、ホームに降り立った観光客にイベント等の案内の充実化を図る。 また、町民についても、町広報を周知するサービスが徹底できる。				

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成25年度(決算)		平成26年度(決算)		平成27年度(見込)	
	事業費	4,998,000	3,996,000	3,000,000		
コスト	人件費	821,229	668,738	696,880		
	非常勤職員等					
	人件費合計	821,229	668,738	696,880		
総事業費	5,819,229	4,664,738	3,696,880			
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	5,819,229	4,664,738	3,696,880		
財源合計	5,819,229	4,664,738	3,696,880			
活動指標	指標設定の理由・考え方		単位	平成25年度	平成26年度	目標値
放映番組数			本	225	223	230
成果指標	指標設定の理由・考え方		単位	平成25年度	平成26年度	目標値
観光入込数(日帰り・宿泊計)	対前年比3%の増		千人	3,943	3,634	3,743

3 平成26年度までの事業分析及び改善点

評価 3段階とその理由を記入(A:高い B:普通 C:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	A 湯河原駅に設置することにより、観光客には観光イベントなどの情報の提供を、町民には広報ゆがわら掲載記事などを提供することが可能である。情報発信のひとつの媒体として、町が実施する必要
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか	B 情報発信媒体がSNS(スマホやタブレット端末)などへ移行してきていることにより、中長期的には、廃止も含めた見直しを検討する必要がある。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	B 情報発信媒体がSNS(スマホやタブレット端末)などへ移行してきていることにより、事業の成果が低くなりつつある。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	B 町は、情報発信媒体のひとつとして、第三セクター(株)湯河原総合情報センターは、株主に対して広告掲載の依頼をしており、受益の機会は均等と考える。

平成26年度までの改善点	(株)湯河原総合情報センターが、着地型旅行企画商品の造成にシフトしていることから、年々委託額を減額している。 (平成25年度まで 500万円 平成26年度:400万円 平成27年度:300万円)
--------------	--

4 見直し及び改善

平成27年度の見直し及び改善(実績または予定)	(株)湯河原総合情報センターが、着地型旅行企画商品の造成にシフトしていることから、年々委託額を減額している。 (平成25年度まで 500万円 平成26年度:400万円 平成27年度:300万円)
平成28年度以降の方向性	(株)湯河原総合情報センターが、更に着地型旅行企画商品の造成にシフトしていく場合、更なる委託額の減額を検討したい。

5 一次評価(平成28年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	当面は、現状維持とするが、中長期的には、事業廃止時期を判断する。
------	----------	----------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・効率的な情報提供ができていないため、廃止を検討する必要がある。
----------------------------------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(見直し)	・効率的な情報提供の方法を検討。
------	---------	------------------

平成27年度事務事業評価シート

平成27年6月23日作成

事業番号	0215	担当部課	まちづくり部観光課								
事務事業名	西さがみ地区観光フェスティバル宣伝事業										
予算科目コード	会計	01	款	06	項	01	目	02	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(平成27年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
ゆがわら2011プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	I 基幹産業の振興	1 観光	(3) 観光資源のネットワーク化	② 新規広域観光ルートの開発
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画				
目的	小田原・南足柄・箱根・真鶴との2市3町で「西さがみ」という名称で共同宣伝を実施していくもの。 周遊型観光戦略のひとつとして、「西さがみ」共通のテーマを定め、連帯性をもたせ周遊できるエリアを広げ、更なる集客を図る。				
対象	観光客				
内容	公益社団法人神奈川県観光協会に2市3町合同事業を委託し、観光展・キャラバン等の開催、共同パンフレットの作製及びポスター宣伝を実施。				

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成25年度(決算)		平成26年度(決算)		平成27年度(見込)	
	金額	人件数	金額	人件数	金額	人件数
コスト	1,000,000		1,000,000		1,000,000	
人件費	821,229		668,738		696,880	
非常勤職員等						
人件費合計	821,229		668,738		696,880	
総事業費	1,821,229		1,668,738		1,696,880	
財源内訳						
国庫支出金						
県支出金						
地方債						
その他特定財源						
一般財源	1,821,229		1,668,738		1,696,880	
財源合計	1,821,229		1,668,738		1,696,880	
活動指標	指標設定の理由・考え方		単位	平成25年度	平成26年度	目標値
観光プロモーション・キャラバン	誘客宣伝		回	7	8	8
ポスター作製	広報・宣伝		枚	40,000	40,000	40,000
成果指標	指標設定の理由・考え方		単位	平成25年度	平成26年度	目標値
観光入込数(日帰り・宿泊計)	対前年比3%の増		千人	3,943	3,634	3,743

3 平成26年度までの事業分析及び改善点

評価 3段階とその理由を記入(A:高い B:普通 C:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	B 小田原・南足柄・箱根・真鶴との2市3町で「西さがみ」という名称で合同で事業委託することにより、周遊型観光戦略として、連帯性をもたせ「西さがみ地区」への誘客が図れる。
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか	B 共同宣伝することにより、JRの月別重点地区に指定され、誘客効果をあげている。また、関西・東北地方などでのキャラバンの実施により、誘客が図られている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	B 周遊型観光戦略として、宣伝PR活動を実施することにより、「西さがみ地区」への誘客が図れている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	B 受益の機会は均等と考える。

平成26年度までの改善点	小田原市観光大使の阿藤快氏による、テレビ、新聞社などでの「西さがみ地区」の誘客宣伝の実施。また、行政及び民間事業者との合同誘客宣伝を実施した。
--------------	---

4 見直し及び改善

平成27年度の見直し及び改善 (実績または予定)	(実施済及び今後の予定) ・北陸新幹線開通に伴う、誘客宣伝・キャラバン(実施済み) ・関西地方(大阪・名古屋)、東北地方(仙台)、首都圏(大宮・横浜・川崎)での誘客宣伝・キャラバンの実施。
平成28年度以降の方向性	箱根火山の影響により、観光客数が低迷している状況を踏まえ、新たな周遊できるエリアの検討、新事業の展開など「西さがみ地区」への誘客を図る必要がある。

5 一次評価(平成28年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	周遊型観光戦略として、連帯性をもたせ「西さがみ地区」への観光客数の増加を図りたい。
------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・県の県西地域活性化プロジェクト又は未病関連事業と結びつけることを検討する必要がある。
---

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

平成27年度事務事業評価シート

平成27年7月1日作成

事業番号	240	担当部課	まちづくり観光課								
事務事業名	湯河原町商工会補助金										
予算科目コード	会計	01	款	06	項	02	目	02	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(平成27年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
ゆがわら2011プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	Ⅱ 地域産業の振興	1 商業・サービス業	(1) 商業基盤の整備	①②④⑤ ①商店街診断 ②融資制度、利子補給制度の拡充 ④大型店・中型店進出への対応 ⑤空き店舗対策の支援
関連する個別計画					
目的	商工会の主要事業である地域商業者への経営改善普及事業に対し助成するもの。				
対象	湯河原町商工会				
内容	商工会会員(900事業所)に対する商工業振興施策、経営改善支援、地域振興事業、確定申告の指導を行う商工会の業務に対する助成。				

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成25年度(決算)	平成26年度(決算)	平成27年度(見込)		
コスト	事業費	7,600,000	7,600,000	7,600,000		
	人件費	常勤職員	141,209	157,634	163,420	
		非常勤職員等				
		人件費合計	141,209	157,634	163,420	
	総事業費	7,741,209	7,757,634	7,763,420		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	7,741,209	7,757,634	7,763,420		
財源合計	7,741,209	7,757,634	7,763,420			
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成25年度	平成26年度	目標値	
商工会会員数			886	862	900	
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成25年度	平成26年度	目標値	
相談・支援取扱件数			3,892	4,096		

3 平成26年度までの事業分析及び改善点

評価 3段階とその理由を記入(A:高い B:普通 C:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	A 事業者への経営支援事業や地域活性化事業などを実施し、地域経済団体として地域の発展と会員企業の繁栄に資するため。
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか	A 経営指導員等の相談指導件数が製造業など810事業者に対し、3,728件の相談業務を行っており、また、税務相談が18件、確定申告指導業務が350件など、各種相談業務を実施し、会員に対しさまざまな支援を行っている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	A 各種事業を実施することにより、商業・工業・観光・地域振興につながっている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	A 会員に対し、講習会・講演会の開催、税務指導、各種相談会の開設などを実施している。

平成26年度までの改善点	会員に対し、さらなる支援策の検討をお願いした。
--------------	-------------------------

4 見直し及び改善

平成27年度の見直し及び改善 (実績または予定)	特になし
平成28年度以降の方向性	商工会事業の趣旨から、平成28年度以降についても、引き続き助成したいと考える。

5 一次評価(平成28年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	引続き、事業者への経営支援事業や地域活性化事業などを実施したい。
------	----------	----------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・特になし
-------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

平成27年度事務事業評価シート

平成27年7月1日作成

事業番号	244	担当部課	まちづくり観光課								
事務事業名	中小企業退職金共済掛金助成事業										
予算科目コード	会計	01	款	06	項	02	目	02	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(平成27年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
ゆがわら2011プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	Ⅲ 勤労者対策の推進	2 勤労者福祉	(1) 勤労者福祉の充実	① 勤労者福祉の充実
関連する個別計画					
目的	町内事業者の雇用の安定及び従業員の労働条件の向上を図る。				
対象	町内の事業者				
内容	事業主が従業員の退職金のための退職金共済制度(中小企業退職金共済制度・特定退職金共済制度)に加入している事業主に対し、掛け金の一部を助成するもの。 1 対象 町内の事業所 2 助成金 掛け金の10%(月額5,000円掛け金を限度とし、最高500円) 3 助成期間 10年間				

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成25年度(決算)		平成26年度(決算)		平成27年度(見込)	
	事業費	1,023,000	933,000	1,178,000		
人件費	常勤職員	70,604	78,817	81,710		
	非常勤職員等					
	人件費合計	70,604	78,817	81,710		
総事業費	1,093,604	1,011,817	1,259,710			
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	1,093,604	1,011,817	1,259,710		
財源合計	1,093,604	1,011,817	1,259,710			
活動指標	指標設定の理由・考え方		単位	平成25年度	平成26年度	目標値
助成事業者数			件	32	39	
成果指標	指標設定の理由・考え方		単位	平成25年度	平成26年度	目標値
助成金額			円	1,023,000	933,000	

3 平成26年度までの事業分析及び改善点

評価 3段階とその理由を記入(A:高い B:普通 C:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	A 中小企業の雇用の安定及び従業員の労働条件の向上のため必要と考える。
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか	A 従業員が退職後に、経済面での安定した生活を送るための一助になると考える。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	A 従業員が退職後に、経済面での安定した生活を送るための一助になると考える。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	A 町内事業主に退職金共済制度への加入促進をPRしている。

平成26年度までの改善点	中小企業退職金共済制度の加入促進を図った。
--------------	-----------------------

4 見直し及び改善

平成27年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし
平成28年度以降の方向性	町内事業者の雇用の安定及び従業員の労働条件を向上を図るため、平成28年度以降も助成したいと考える。

5 一次評価(平成28年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	中小企業の雇用の安定及び従業員の労働条件の向上のため、助成制度を継続したい。
------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・特になし
-------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------



平成27年度事務事業評価シート

平成27年7月1日作成

事業番号	245	担当部課	まちづくり観光課								
事務事業名	中小企業振興資金預託金										
予算科目コード	会計	01	款	06	項	02	目	02	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(平成27年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
ゆがわら2011プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	Ⅱ 地域産業の振興	1 商業・サービス業	(1) 商業基盤の整備	② 融資制度、利子補給制度の拡充
関連する個別計画					
目的	中小企業が低い利率で融資を受けることにより、経営の安定が図れる。				
対象	既に融資を受けている事業者				
	商工業を営む町内の中小企業の事業活動に必要な資金について、町が金融機関に預託した金額の5倍の範囲で融資するもの。 1 預託期間 毎年 4月1日～翌年3月31日 2 預託利率 無利子 3 融資額(期間) 運転資金1,000万円(7年) 設備資金2,000万円(10年) 4 融資利率 長期プライムレート利率から-0.5%を引いた利率				

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成25年度(決算)		平成26年度(決算)		平成27年度(見込)		
	事業費	25,000,000	15,000,000	12,000,000			
コスト	人件費	常勤職員	70,604	78,817	81,710		
		非常勤職員等					
	人件費合計	70,604	78,817	81,710			
総事業費	25,070,604	15,078,817	12,081,710				
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源						
	一般財源	25,070,604	15,078,817	12,081,710			
財源合計	25,070,604	15,078,817	12,081,710				
活動指標	指標設定の理由・考え方		単位	平成25年度	平成26年度	目標値	
融資件数			件	9	9		
成果指標	指標設定の理由・考え方		単位	平成25年度	平成26年度	目標値	
融資枠			千円	125,000	75,000		

3 平成26年度までの事業分析及び改善点

評価 3段階とその理由を記入(A:高い B:普通 C:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	A 町が資金を金融機関に預託することにより、中小企業の経営の安定を図るための融資を低い利率で受けることが可能となる。
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか	A 事業活動に必要な運転資金や設備資金を低い利率で資金を調達できる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	A 低い利率で融資を受けることで、事業者の経営の安定が図られる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	A 平成26年4月1日から新規の受付けをしていないので、現在融資を受けている事業者のみが対象となっている。
平成26年度までの改善点	新規受付の廃止	

4 見直し及び改善

平成27年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし
平成28年度以降の方向性	中小企業の経営の安定を確保するため、平成26年4月1日から、新規の融資を受付けしていないが、平成28年度以降も預託したいと考える。

5 一次評価(平成28年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	融資期間が満了するまで継続して実施したい。
------	----------	-----------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・特になし
-------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

平成27年度事務事業評価シート

平成27年7月1日作成

事業番号	246	担当部課	まちづくり観光課								
事務事業名	商店街街路灯維持管理事業										
予算科目コード	会計	01	款	06	項	02	目	02	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(平成27年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
ゆがわら2011プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	Ⅱ 地域産業の振興	1 商業・サービス業	(1) 商業基盤の整備	③ 歩道・街路灯・街路灯の整備
関連する個別計画					
目的	町民の方の安全・安心まちづくりを推進するため、街路灯の維持や商店会の健全な経営を図るため、電気料の一部を助成しているもの。				
対象	商店街				
内容	町管理の街路灯(58灯)の電気料金及び玉切れの交換や機器故障の修繕料並びに商店会管理の街路灯の電気料の2/5を助成している。				

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成25年度(決算)		平成26年度(決算)		平成27年度(見込)	
	事業費	2,995,160	3,536,754	3,724,000		
コスト	人件費	70,604	78,817	81,710		
	非常勤職員等					
	人件費合計	70,604	78,817	81,710		
総事業費	3,065,764	3,615,571	3,805,710			
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	3,065,764	3,615,571	3,805,710		
財源合計	3,065,764	3,615,571	3,805,710			
活動指標	指標設定の理由・考え方		単位	平成25年度	平成26年度	目標値
街路灯数(町・商店会)			件	280	344	
成果指標	指標設定の理由・考え方		単位	平成25年度	平成26年度	目標値
街路灯電気料金			円	2,995,160	3,536,754	

3 平成26年度までの事業分析及び改善点

評 価 3段階とその理由を記入(A:高い B:普通 C:低い)		
必 要 性	町が実施する必要があるのか	A 安全・安心なまちづくりを推進するため、防犯面で機能する街路灯維持管理(町・商店会)は必要と考える。
効 率 性	投入した費用に見合った効果が得られているか	A 防犯面の犯罪の抑止と商店会の健全な経営を支えている。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	A 防犯面の犯罪の抑止と商店会の健全な経営を支えている。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	A 街路灯の設置(維持管理)により、町民一人ひとり安全・安心な生活につながると考えている。
平成26年度までの改善点	各商店街が管理している街路灯は、団体の解散や電気料金の負担増により消灯しているものがあり、地域の防災・防犯上の課題があり、町への移管を検討する。	

4 見直し及び改善

平成27年度の見直し及び改善(実績または予定)	各商店街が管理している街路灯は、団体の解散や電気料金の負担増に消灯しているものがあり、地域の防災・防犯上の課題であるので、順次、防犯灯として町へ移管する。
平成28年度以降の方向性	安全・安心なまちづくりを推進するため、順次、防犯灯として町へ移管されるが、すべてが移管されるまでの間、街路灯維持管理事業を継続したい。

5 一次評価(平成28年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	街路灯の設置(維持管理)により、町民の安全・安心を確保していると考ええる。
------	----------	---------------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・県道沿い商業灯では、防犯灯への移管計画を防犯所管課と共に策定する必要がある。
---

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(見直し)	・順次、商店街街路灯の町への移管を進めているため。
------	---------	---------------------------

平成27年度事務事業評価シート

平成27年7月1日作成

事業番号	242	担当部課	まちづくり部観光課								
事務事業名	商店街振興事業(地域商業活性化事業助成金)										
予算科目コード	会計	01	款	06	項	02	目	02	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(平成27年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
ゆがわら2011プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	I 商業・サービス業	-	-	-
関連する個別計画					
目的	地域商品券を発行し、景気対策と地域商店街の活性化を目的とする。				
対象	町民及び観光客				
内容	町内の商店で使用できる10%のプレミアム商品券を発売し、町内商業の活性化につなげ、消費の拡大を図る。				

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成25年度(決算)		平成26年度(決算)		平成27年度(見込)	
	事業費	10,574,288	8,977,983	11,950,000		
コスト	人件費	70,604	78,817	81,710		
	非常勤職員等					
	人件費合計	70,604	78,817	81,710		
総事業費	10,644,892	9,056,800	12,031,710			
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	10,644,892	9,056,800	12,031,710		
財源合計	10,644,892	9,056,800	12,031,710			
活動指標	指標設定の理由・考え方		単位	平成25年度	平成26年度	目標値
地域商品券発行枚数	事業周知		枚	154,000	120,000	
地域商品券取扱店	取扱店		件	264	275	
成果指標	指標設定の理由・考え方		単位	平成25年度	平成26年度	目標値
地域商品券販売枚数	各商店の売上の増加		枚	154,000	120,000	
地域商品券取扱店	取扱店		件	264	275	

3 平成26年度までの事業分析及び改善点

評価 3段階とその理由を記入(A:高い B:普通 C:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	A 地域商業活性化事業として、利用者が購入することにより、町内の地域商品券取扱店での販促につながるため。
効率性	投入した費用に見合った効果を得られているか	A 発売枚数について、平成25年度が154,000枚×額面500円＝77,000,000円、平成26年度が120,000枚×額面500円＝60,000,000円を販売し、町内取扱店へまわり費用に見合った経済効果が得られている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	A 発売枚数について、平成25年度が154,000枚×額面500円＝77,000,000円、平成26年度が120,000枚×額面500円＝60,000,000円を販売し、町内取扱店へまわり費用に見合った経済効果が得られている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	A 町広報・地方紙・ホームページ・折込チラシなどで周知を図っている。

平成26年度までの改善点	地域商品券の取扱店を増加させるよう、各商店への働きかけをお願いした。
--------------	------------------------------------

4 見直し及び改善

平成27年度の見直し及び改善(実績または予定)	平成27年度については、地方創生に向けた国の交付金を活用し、平成26年度発売冊数12,000冊から3,000冊増冊し、15,000冊を販売する予定。
平成28年度以降の方向性	地域商品券を発行し、地域商店街の活性化と消費の拡大を図る。

5 一次評価(平成28年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	単年度では、効果測定が難しく、継続して事業を実施することにより、地域経済の活性化につなげたい。
------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・特になし
-------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

平成27年度事務事業評価シート

平成27年6月29日作成

事業番号	211	担当部課	まちづくり部観光課								
事務事業名	夏季行事開催事業										
予算科目コード	会計	01	款	06	項	01	目	02	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(平成27年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
ゆがわら2011プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	I 基幹産業の振興	1 観光	(1) 観光資源の拡充・整備	① 観光イベント・施設情報の提供
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画				
目的	夏季休暇の期間にイベントを開催することにより集客効果の向上を図る。				
対象	住民及び観光客				
内容	やっさまつり(踊りパレード)、海上花火大会の実施及び海水浴場の運営を夏季行事として開催				

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成25年度(決算)	平成26年度(決算)	平成27年度(見込)	
コスト	事業費	23,634,056	26,120,738	26,355,000	
	人件費				
	常勤職員	8,212,291	6,687,376	6,968,800	
	非常勤職員等				
	人件費合計	8,212,291	6,687,376	6,968,800	
	総事業費	31,846,347	32,808,114	33,323,800	
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	31,846,347	32,808,114	33,323,800	
	財源合計	31,846,347	32,808,114	33,323,800	
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成25年度	平成26年度	目標値
観光ポスター・チラシ作製	事業の周知・広報	枚	31,200	31,200	31,200
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成25年度	平成26年度	目標値
観覧者数	事業効果の客観的判断	人	68,000	69,000	70,000

3 平成26年度までの事業分析及び改善点

評価 3段階とその理由を記入(A:高い B:普通 C:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	B 行政機関への申請、調整は町が行う必要性はあるが、行事全体はイベントの発想の多様性を考慮すると必ずしも町が行う必要性は認められなく、現在、官民共同の実行委員会方式で実施している。
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか	B 踊りパレード2日・3万人、3日・3.9万人及び海上花火大会3日(3.9万人のうち2.9万人)開催時には町民・観客が一同を介し増加しているため、一定の効果が得られている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	B 海上花火大会は2回の実施により観客は増加しているが、踊りパレードの観客は横ばいの傾向にある。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	A 住民や観光客が参加できるイベントであり、受益の機会は均等である。住民、観光客とも夏季休暇中の一大イベントとして認識されており、町としても同様に位置付け広報等を行い周知している。
平成26年度までの改善点	平成14年度から踊りパレードに新調を加え、幕山公園通りの参加団体の維持に努め、平成24年度から新たに海上花火大会を7月に開催した。平成26年度から新たなルールづくりとして、7月の海上花火大会を夏休みに入ってからの日曜日に開催することにした。	

4 見直し及び改善

平成27年度の見直し及び改善(実績または予定)	(実施済及び今後の予定) 海辺公園の共用開始に伴い、海辺公園での花火見学者の増加が見込まれるため、民間警備員を配置し、見学者の安全を確保する。
平成28年度以降の方向性	踊りパレードについて、新曲の参加団体の増加が見込めないため、正調曲への一本化への検討を考えたい。海上花火大会の回数を増やすことも検討したい。

5 一次評価(平成28年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	単年度では、効果測定が難しく、継続して事業を実施することにより、観光客数の増につなげたい。
------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・平日の誘客につながるイベントを計画する必要がある。
----------------------------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------



平成27年度事務事業評価シート

平成27年6月29日作成

事業番号	213	担当部課	まちづくり部観光課									
事務事業名	梅の宴行事開催事業											
予算科目コード	会計	01	款	06	項	01	目	02	事業開始年度	平成	7	年度

1 事業概要(平成27年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
ゆがわら2011プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	I 基幹産業の振興	1 観光	(1) 観光資源の拡充・整備	① 観光イベント・施設情報の提供
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画				
目的	幕山の裾野に広がる湯河原梅林で、立春イベントとして「梅の宴」を開催することにより集客効果の向上を図る。				
対象	住民及び観光客				
内容	多種多彩なイベント等(芸妓の舞・和太鼓等)を企画・運営し、梅の宴として開催。				

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成25年度(決算)	平成26年度(決算)	平成27年度(見込)	
コスト	事業費	6,773,095	9,246,596	6,546,000	
	人件費	8,212,291	6,687,376	6,968,800	
	常勤職員				
	非常勤職員等				
	人件費合計	8,212,291	6,687,376	6,968,800	
	総事業費	14,985,386	15,933,972	13,514,800	
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	14,985,386	15,933,972	13,514,800	
	財源合計	14,985,386	15,933,972	13,514,800	
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成25年度	平成26年度	目標値
観光ポスター・チラシ作製	事業の周知・広報	枚	142,210	142,210	143,000
来園者数	事業効果の客観的判断	人	68,186	73,724	80,000
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成25年度	平成26年度	目標値
来園者数	対前年比3%の増	人	82,400	70,240	80,000

3 平成26年度までの事業分析及び改善点

評価 3段階とその理由を記入(A:高い B:普通 C:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	B 行政機関への申請、調整は町が行う必要性はあるが、行事全体はイベントの発想の多様性を考慮すると必ずしも町が行う必要性は認められなく、現在、官民共同の実行委員会方式で実施している。
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか	B 梅の宴開催期間中には、約16,000人もの観光客が湯河原へ宿泊されているので、定の効果が得られている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	B 近年、園者数が減少傾向にある。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	B 均等と考えている。
平成26年度までの改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>梅の宴20周年記念事業として、記念イベント(狂言の宴など)を実施し、誘客の増加を図った。</li> <li>足の不自由な方へ、電動車いすを貸与。</li> </ul>	

4 見直し及び改善

平成27年度の見直し及び改善 (実績または予定)	(実施済及び今後の予定) ・町村合併60周年記念事業と共同で、梅の宴期間中にプロジェクションマッピングの実施。
平成28年度以降の方向性	来園客数が低迷している状況を踏まえ、新たなイベントの実施や積極的にプロモーション活動を継続して実施する必要がある。

5 一次評価(平成28年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	単年度では、効果測定が難しく、継続して事業を実施することにより、観光客数の増につなげたい。
------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・特になし
-------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

平成27年度事務事業評価シート

平成27年6月29日作成

事業番号	216	担当部課	まちづくり部観光課								
事務事業名	湯河原温泉観光協会補助金										
予算科目コード	会計	01	款	06	項	01	目	02	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(平成27年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
ゆがわら2011プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	I 基幹産業の振興	1 観光	(1) 観光資源の拡充・整備	① 観光イベント・施設情報の提供
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画				
目的	湯河原温泉への誘客キャラバン、エージェント等への宣伝PR活動の実施、また、湯河原温泉独自のイベントを実施することにより誘客を図る。				
対象	住民及び観光客				
内容	湯河原温泉独自の多種多彩なイベント(湯かけまつり等)の観光行事、誘客宣伝・キャラバンの実施及び観光案内業務の実施。				

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成25年度(決算)	平成26年度(決算)	平成27年度(見込)	
コスト	事業費	34,200,000	35,460,000	34,200,000	
	人件費				
	常勤職員	821,229	668,738	696,880	
	非常勤職員等				
	人件費合計	821,229	668,738	696,880	
	総事業費	35,021,229	36,128,738	34,896,880	
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	35,021,229	36,128,738	34,896,880	
	財源合計	35,021,229	36,128,738	34,896,880	
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成25年度	平成26年度	目標値
イベント用チラシ作製	事業の周知・広報	枚	230,000	230,000	230,000
取材協力	宣伝PR	回	22	16	20
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成25年度	平成26年度	目標値
観光客数(宿泊者数・日帰り客数)	対前年比3%の増	千人	3,943	3,634	3,743

3 平成26年度までの事業分析及び改善点

評価 3段階とその理由を記入(A:高い B:普通 C:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	B 湯河原町において観光・誘客行事の円滑な実施に努め、観光の発展及び振興に寄与することを目的とした団体で、観光を基幹産業とする本町においては、町と連携して事業を実施する必要がある。
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか	B 宣伝PR活動の実施、また、湯河原温泉独自のイベントを実施することにより誘客が図れている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	B 宣伝PR活動の実施、また、湯河原温泉独自のイベントを実施することにより誘客が図れている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	B 受益の機会は均等と考える。

平成26年度までの改善点	新たな行事、誘客宣伝など、誘客対策の検討。
--------------	-----------------------

4 見直し及び改善

平成27年度の見直し及び改善 (実績または予定)	(実施済及び今後の予定) 湯かけまつり等の観光行事、誘客宣伝・キャラバンの実施及び観光案内業務の実施。
平成28年度以降の方向性	本町の観光客数が低迷している状況を踏まえ、本町の観光振興推進のため、観光アドバイザーの助言を得て、新事業の展開や的確なプロモーション活動を町と連携し実施する必要がある。

5 一次評価(平成28年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	単年度では、効果測定が難しく、継続して事業を実施することにより、観光客数の増につなげたい。
------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・特になし
-------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

平成27年度事務事業評価シート

平成27年6月29日作成

事業番号	217	担当部課	まちづくり部観光課								
事務事業名	湯河原温泉誘客対策協議会補助金										
予算科目コード	会計	01	款	06	項	01	目	02	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(平成27年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
ゆがわら2011プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	I 基幹産業の振興	1 観光	(1) 観光資源の拡充・整備	① 観光イベント・施設情報の提供
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画				
目的	JR、JTB、近畿日本ツーリスト、小田急トラベル、日本旅行等の協定旅館連盟が実施する誘客キャンペーンに対しての事業補助をすることにより、誘客を図る。				
対象	観光客				
内容	各エージェント(JR、JTB、近畿日本ツーリスト、小田急トラベル、日本旅行)が企画する誘客キャンペーンを補助することにより、より多く「ゆがわら」を商品としたパッケージを誘導する。				

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成25年度(決算)	平成26年度(決算)	平成27年度(見込)	
コスト	事業費	1,500,000	1,500,000	1,500,000	
	人件費				
	常勤職員	821,229	668,738	696,880	
	非常勤職員等				
	人件費合計	821,229	668,738	696,880	
	総事業費	2,321,229	2,168,738	2,196,880	
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	2,321,229	2,168,738	2,196,880	
	財源合計	2,321,229	2,168,738	2,196,880	
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成25年度	平成26年度	目標値
誘客宣伝数	誘客宣伝・販売促進	回	3	7	10
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成25年度	平成26年度	目標値
観光客数(宿泊者数・日帰り)	対前年比3%の増	千人	3,943	3,634	3,743

3 平成26年度までの事業分析及び改善点

評価 3段階とその理由を記入(A:高い B:普通 C:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	B 観光客数が低迷している現状を踏まえ、各エージェントに、より多く「ゆがわら」を商品としたパッケージを企画誘導する必要がある。
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか	B 駅コンコースでのキャラバンや、販売店などで湯河原温泉のPRやパッケージ商品の販売促進などを実施することにより、誘客が図れている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	B 各エージェントによる、湯河原温泉のPRやパッケージ商品の販売などにより、誘客が図れている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	B 受益の機会は均等と考える。

平成26年度までの改善点	ゆるきゃらを使用したのキャラバンの実施。
--------------	----------------------

4 見直し及び改善

平成27年度の見直し及び改善 (実績または予定)	(実施済及び今後の予定) JTB販売店(日ノ出町・立川駅・小田原・秦野)で、ゆるきゃら出演と販売促進の実施。
平成28年度以降の方向性	本町の観光客数が低迷している状況を踏まえ、本町の観光振興推進のため、観光アドバイザーの助言を得て、新事業の展開や的確なプロモーション活動を町と連携し実施する必要がある。

5 一次評価(平成28年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	単年度では、効果測定が難しく、継続して事業を実施することにより、観光客数の増につなげたい。
------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・特になし
-------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

平成27年度事務事業評価シート

平成27年6月29日作成

事業番号	718	担当部課	まちづくり部観光課								
事務事業名	誘客宣伝事業										
予算科目コード	会計	01	款	06	項	01	目	02	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(平成27年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
ゆがわら2011プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	I 基幹産業の振興	1 観光	(1) 観光資源の拡充・整備	① 観光イベント・施設情報の提供
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画				
目的	インターネットを活用した個人消費者へのPRを行い、宿泊客の誘導を図る。また、観光宣伝用ノベルティー等を作成し、各種観光キャラバン等で配布し誘客を図る。				
対象	観光客				
内容	旅行エージェント(リクルート、楽天トラベル等)のインターネットの活用や誘客キャラバンの実施。				

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成25年度(決算)	平成26年度(決算)	平成27年度(見込)	
コスト	事業費	10,823,900	7,350,000	7,350,000	
	人件費				
	常勤職員	821,229	668,738	696,880	
	非常勤職員等				
	人件費合計	821,229	668,738	696,880	
	総事業費	11,645,129	8,018,738	8,046,880	
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	11,645,129	8,018,738	8,046,880	
	財源合計	11,645,129	8,018,738	8,046,880	
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成25年度	平成26年度	目標値
誘客キャラバン数	誘客宣伝	回	11	11	11
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成25年度	平成26年度	目標値
観光客数(宿泊者数・日帰り客数)	対前年比3%の増	千人	3,943	3,634	3,743

3 平成26年度までの事業分析及び改善点

評価 3段階とその理由を記入(A:高い B:普通 C:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	B 湯河原町において観光・誘客行事の円滑な実施に努め、観光の発展及び振興に寄与することを目的とした団体で、観光を基幹産業とする本町においては、町と連携して事業を実施する必要がある。
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか	B インターネットの活用や誘客キャラバンの実施により、誘客が図られている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	B インターネットの活用や誘客キャラバンの実施により、誘客が図られている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	B 受益の機会は均等と考える。

平成26年度までの改善点	インターネットのアクセス数、エリア別の観光客数、年齢層などを解析し、具体的な戦略を検討する。
--------------	--

4 見直し及び改善

平成27年度の見直し及び改善 (実績または予定)	(実施済及び今後の予定) 夏季行事(やっさまつり・海水浴・納涼縁日など)のチラシ及び、うちわの配布による誘客キャラバンの実施。
平成28年度以降の方向性	本町の観光客数が低迷している状況を踏まえ、本町の観光振興推進のため、観光アドバイザーの助言を得て、新事業の展開や的確なプロモーション活動を町と連携し実施する必要がある。

5 一次評価(平成28年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	単年度では、効果測定が難しく、継続して事業を実施することにより、観光客数の増につなげたい。
------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・メディアを活用した誘客を検討する必用がある。
-------------------------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	・本町より西側の誘客を図るための宣伝も必要。 ・星ヶ山における夕の星空のイベント開催を検討。
------	----------	---



平成27年度事務事業評価シート

平成27年6月29日作成

事業番号	927	担当部課	まちづくり部観光課								
事務事業名	誘客キャラバン委託事業										
予算科目コード	会計	01	款	06	項	01	目	02	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(平成27年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
ゆがわら2011プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	I 基幹産業の振興	1 観光	(1) 観光資源の拡充・整備	① 観光イベント・施設情報の提供
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画				
目的	箱根駅伝で芦ノ湖周辺までいらした方々に、湯河原温泉が箱根から近いことを再認識していただくとともに、梅の宴等のイベントの情報をお知らせすることで誘客を図る。				
対象	観光客				
内容	箱根駅伝の予選会及び本選ゴール付近での誘客キャラバンの実施。				

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成25年度(決算)	平成26年度(決算)	平成27年度(見込)	
コスト	事業費	1,667,000	1,339,000	1,830,000	
	人件費				
	常勤職員	821,229	668,738	696,880	
	非常勤職員等				
	人件費合計	821,229	668,738	696,880	
	総事業費	2,488,229	2,007,738	2,526,880	
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	2,488,229	2,007,738	2,526,880	
	財源合計	2,488,229	2,007,738	2,526,880	
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成25年度	平成26年度	目標値
ノベルティー・チラシ配布	事業の周知・広報	組	4,000	4,000	4,000
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成25年度	平成26年度	目標値
観光客数(宿泊者数・日帰り)	対前年比3%の増	千人	3,943	3,634	3,743

3 平成26年度までの事業分析及び改善点

評価 3段階とその理由を記入(A:高い B:普通 C:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	B 湯河原町において観光・誘客行事の円滑な実施に努め、観光の発展及び振興に寄与することを目的とした団体で、観光を基幹産業とする本町においては、町と連携して事業を実施する必要がある。
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか	B ノベルティーと一緒に配布することにより、イベント情報だけでなく、湯河原町の特産品もPRすることができている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	B 湯河原町と箱根町の位置関係がプリントされた袋での配布により、効果的な宣伝が図れている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	B 受益の機会は均等と考える。

平成26年度までの改善点	町・議会・観光協会で実施していたが、商工会も加わり、オール湯河原で実施している。
--------------	--

4 見直し及び改善

平成27年度の見直し及び改善 (実績または予定)	(実施済及び今後の予定) より多くの方へのPRとして、配布用ノベルティーを増やす。
平成28年度以降の方向性	本町の観光客数が低迷している状況を踏まえ、本町の観光振興推進のため、観光アドバイザーの助言を得て、新事業の展開や的確なプロモーション活動を町と連携し実施する必要がある。

5 一次評価(平成28年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	単年度では、効果測定が難しく、継続して事業を実施することにより、観光客数の増につなげたい。
------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・特になし
-------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

平成27年度事務事業評価シート

平成27年6月29日作成

事業番号	220	担当部課	まちづくり部観光課								
事務事業名	ポスター観光宣伝事業										
予算科目コード	会計	01	款	06	項	01	目	02	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(平成27年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
ゆがわら2011プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	I 基幹産業の振興	1 観光	(1) 観光資源の拡充・整備	① 観光イベント・施設情報の提供
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画				
目的	湯河原温泉の観光誘致ポスターの作製にあたり、旅館組合・観光協会・商工会等の各種業界の会員等からなる「湯河原温泉宣伝推進委員」へ委託することにより、一貫したテーマで誘致ポスターの作製(春・秋)並びに首都圏各駅等への提出を実施し、常に新しい湯河原の周知を図る。				
対象	住民及び観光客				
内容	湯河原温泉をPRするのあたり、業界内の意見を統一しテーマを一本化することにより効果的な宣伝を行う。				

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成25年度(決算)	平成26年度(決算)	平成27年度(見込)	
コスト	事業費	1,000,000	1,000,000	1,000,000	
	人件費				
	常勤職員	821,229	668,738	696,880	
	非常勤職員等				
	人件費合計	821,229	668,738	696,880	
	総事業費	1,821,229	1,668,738	1,696,880	
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	1,821,229	1,668,738	1,696,880	
	財源合計	1,821,229	1,668,738	1,696,880	
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成25年度	平成26年度	目標値
観光ポスター作製	事業の周知・広報	枚	1,250	1,250	1,250
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成25年度	平成26年度	目標値
観光客数(宿泊者数・日帰り)	対前年比3%の増	千人	3,943	3,634	3,743

3 平成26年度までの事業分析及び改善点

評価 3段階とその理由を記入(A:高い B:普通 C:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	B 湯河原温泉の活性化と発展に寄与することを目的とし、観光宣伝ポスターの製作を主とした宣伝活動を展開し、より一層の誘客を図る。
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか	B 小田急主要駅へ掲出することにより、首都圏からの誘客が図れている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	B 業界内の意見を統一し、テーマを一本化することにより効果的な宣伝が図れている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	B 受益の機会は均等である。

平成26年度までの改善点	特になし
--------------	------

4 見直し及び改善

平成27年度の見直し及び改善 (実績または予定)	(実施済及び今後の予定) テーマ及びポスターレイアウトは決定済み。9月には秋バージョンが完成予定。
平成28年度以降の方向性	本町の観光客数が低迷している状況を踏まえ、消費者に湯河原温泉を広く紹介する観光宣伝ポスターの企画・製作・掲出を実施するにあたり、業界及び商工関係者等の民間活力を事業に反映し、湯河原温泉の観光誘客を図る。

5 一次評価(平成28年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	単年度では、効果測定が難しく、継続して事業を実施することにより、観光客数の増につなげたい。
------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・特になし
-------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

平成27年度事務事業評価シート

平成27年6月29日作成

事業番号	579	担当部課	まちづくり部観光課								
事務事業名	湯河原梅林公園管理事業										
予算科目コード	会計	01	款	06	項	01	目	02	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(平成27年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
ゆがわら2011プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	I 基幹産業の振興	1 観光	(1) 観光資源の拡充・整備	① 観光イベント・施設情報の提供
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画				
目的	湯河原梅林公園への来園者を迎えるにあたり、きめ細やかなサービスを提供することにより、多くのリピーターを確保し、更なる活性化を図る。また、電子マネー端末機を導入し料徴収の迅速化を図り集客効果の向上を見込む。				
対象	住民及び観光客				
内容	湯河原梅林公園の開園に伴う必要な会場設備、料金徴収に伴う委託や電子マネー端末機の導入、入園券の印刷、仮設トイレの設置等の経費。				

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成25年度(決算)	平成26年度(決算)	平成27年度(見込)	
コスト	事業費	15,922,676	15,577,365	20,788,000	
	人件費	8,212,291	6,687,376	6,968,800	
	非常勤職員等				
	人件費合計	8,212,291	6,687,376	6,968,800	
	総事業費	24,134,967	22,264,741	27,756,800	
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	24,134,967	22,264,741	27,756,800	
財源合計	24,134,967	22,264,741	27,756,800		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成25年度	平成26年度	目標値
観光ポスター・チラシ作製	事業の周知・広報	枚	142,210	142,210	143,000
来園者数	事業効果の客観的判断	人	68,186	73,724	80,000
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成25年度	平成26年度	目標値
来園者数	対前年比3%の増	人	82,400	70,240	80,000

3 平成26年度までの事業分析及び改善点

評 価 3段階とその理由を記入(A:高い B:普通 C:低い)		
必 要 性	町が実施する必要があるのか	B 湯河原梅林公園の開園に伴う必要な会場設備などは、町が整備する必要がある。
効 率 性	投入した費用に見合った効果が得られているか	B 湯河原梅林公園への来園者を迎えるにあたり、きめ細やかなサービスを提供することにより、多くのリピーターを確保している。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	B 立春の観光行事として、町内外で広く認知されている。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	B 来園者が、快適かつ安全に見学ができています。

平成26年度までの改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・渋滞緩和を目的とし、教育センター駐車場を利用したのパーク&amp;バスライドの実施。</li> <li>・電子マネー(suica)をど来園者の利便性の向上を図った。</li> <li>・旅館の送迎用バスを、第1駐車場まで乗り入れを実施。</li> </ul>
--------------	---

4 見直し及び改善

平成27年度の見直し及び改善 (実績または予定)	(実施済及び今後の予定) ・パーク&バスライド利用者の減少に伴い、実施回数の検討。
平成28年度以降の方向性	来園者が、快適に散策でき、魅力ある地場製品の販売など、誘客の増加を図れるよう、継続していく必要がある。

5 一次評価(平成28年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	単年度では、効果測定が難しく、継続して事業を実施することにより、観光客数の増につなげたい。
------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・特になし
-------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------